平成28年度小松市決算のあらまし

財政のすがたを分かりやすく

平成28年度の小松市の決算の情報をもとに、まちづくり・ひとづくりを進めるうえで「どのようにお金が使われたのか」「小松市の財政はどのような状態なのか」を分かりやすくお知らせします。

平成28年度決算の特徴

「NEXT10年ビジョン」の実現をめざし、「くらしの充実」や「まちの発展」に向けた施策をスピードをあげて展開しました。あわせて、「健全な財政」をめざし、将来負担の軽減に努めました。

◆くらしの充実

- ・こども医療費窓口無料化の通年化など子育て家庭の経済的な負担軽減
- ・市民生活に直結した「(仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンター」 の建設着工 etc.

◆まちの発展

- ・ひとづくりの拠点「公立小松大学」の平成30年4月開学に向けた準備
- ・環境王国こまつの交流拠点施設「せせらぎの郷」のリニューアル etc.

◆健全な財政

・市債残高については、全会計で約22億円、7年間累計で約190億円の改善

もくじ

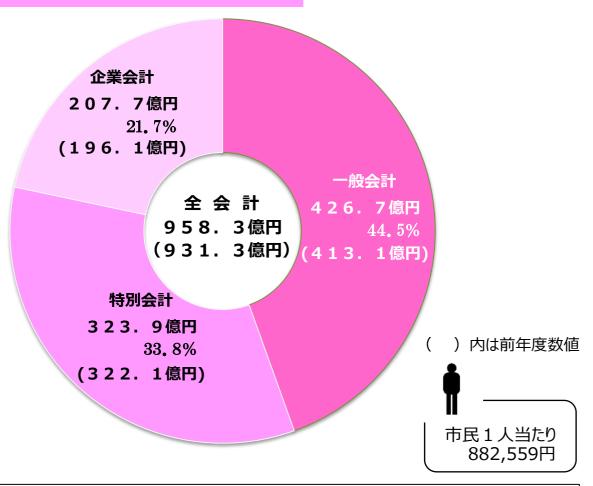
決算って何?	・・・・ 1ページ
1 年間でいくらお金を使ったの?	・・・・ 1ページ
一般会計の内訳は?	・・・・ 2ページ
何にお金を使ったの?	・・・・3ページ
歳入(収入)の内訳は?	・・・・3ページ
歳出(支出)の内容は?	・・・・ 5ページ
歳出(支出)の目的別の使い道は?	・・・・ 7ページ
特別会計・企業会計の内訳は?	・・・・8ページ
市債(借金)はいくらあるの?	・・・・ 9ページ
貯金はいくらあるの?	・・・・ 9ページ
小松市の財政水準は?	・・・・ 10ページ
主な事業の内容	・・・・ 11ページ



決算って何?

1年間(4月1日から翌年の3月31日まで)に予算で決められたお金の使い道に沿って、 実際にどのようにお金が使われたかを表すものです。

1年間でいくらお金を使ったの?



市の会計は、仕事の目的や種類によって大きく3つに分かれています。

[一般会計] ··· 税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計です。

[特別会計] … 国民健康保険,介護保険,農業集落排水などの事業は,保険料や使用料などの市税以外の特定の収入によって運営するものであり,一般会計と分けて経理した方が適当です。このような場合に設置するのが特別会計であり,小松市では**7つの特別会計**を設置しています。

(平成29年度から簡易水道を企業会計の水道に、農業集落排水を下水道へ会計を統合し、5つの特別会計となっています。)

[企業会計] … 水道や公共下水道,病院は,料金収入を主な財源として民間の企業活動に近い仕事をする事業です。このような場合に設置するのが企業会計であり,小松市では3つの企業会計を設置しています。

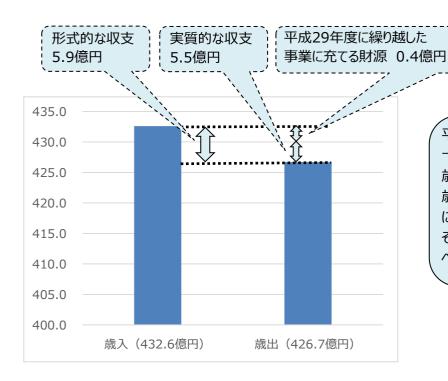
行政の仕事は広範多岐にわたるので,特定の事業の会計を分けることによって収支を明確にしています。

一般会計の内訳は ⇒ 2ページへ 特別会計・企業会計の内訳は ⇒ 8ページへ

一般会計の内訳は?

(単位:億円)

			(1 <u>1</u> - 1/0/1 3/
項		金 額	説 明
歳入総額	Α	432.6	年間の収入総額
歳出総額	В	426.7	年間の支出総額
歳入歳出差引額	C (=A-B)	5.9	形式的な収支
翌年度繰越額	D	0.4	平成29年度に繰り越した事業に充てる財源
実質収支額	E (=C-D)	5.5	実質的な収支



平成28年度の小松市の一般会計の決算額は、 歳入が432.6億円 歳出が426.7億円 になったんだね! それぞれの中身は、次のページから紹介するよ!

実質収支額は,5.5億円

○歳入歳出差引額(形式的な収支) = 歳入総額 – 歳出総額 単純な歳入と歳出の差引で、5.9億円のプラスとなっています。

○翌年度繰越額

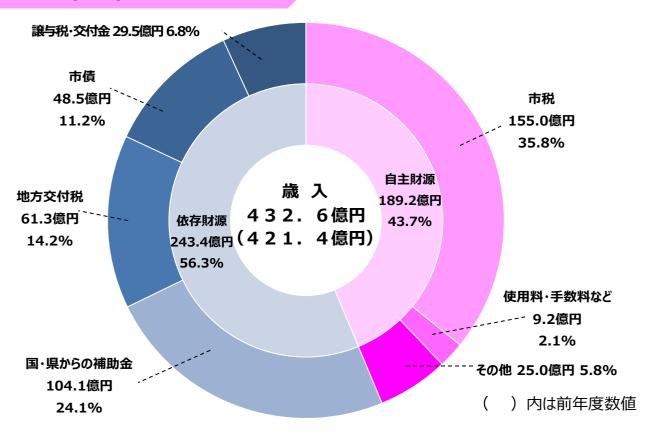
平成28年度中に完成しなかった工事代金など翌年度へ繰り越した事業のために とっておかなければいけなくなったお金が0.4億円あります。

- ○実質収支額(実質的な収支) = 歳入歳出差引額 翌年度繰越額 歳入総額と歳出総額の純粋な差引きである形式的な収支から翌年度繰越額を 差引いた金額のことです。平成28年度は5.5億円のプラスとなっています。
- ○実質収支額の使い道

実質収支額の2分の1以上を年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金へ積立て,残額を翌年度に行う事業の財源としています。

何にお金を使ったの?

歳入(収入)の内訳は?



歳入の内容

平成28年度の収入の中で一番大きな割合を占めているのは皆さんが納めている市税(前年度 比3.8億円減)で歳入の約36%を占めています。

前年度と比較すると、全体として**11.2億円**増額しています。その内訳は、地方交付税が2.0億円減となっているものの、北陸新幹線建設事業に伴う補償金等による諸収入が3.5億円増、(仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンターの建設着手等により地方債が12.7億円増などとなっています。

◇自主財源・依存財源とは

○自主財源

市が自主的に集めることができる財源市税,負担金や使用料,繰入金など

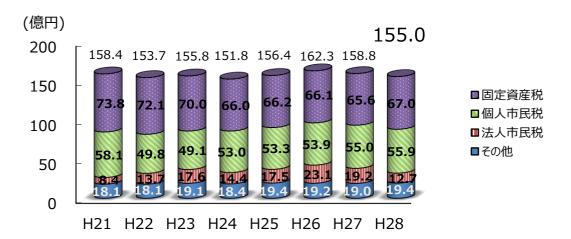
○依存財源

国や県により決定される財源 国・県支出金,地方交付税,地方 譲与税,市債など

小松市では自主財源の確保に努めながら, 国や県などを含めた様々な財源を活用し, まちの発展やくらしの充実を図っています。



市税の推移を見てみよう



グラフは、市税の推移を示しています。平成21年度以降、リーマンショック後の景気後退により 150億円~160億円台を推移しています。

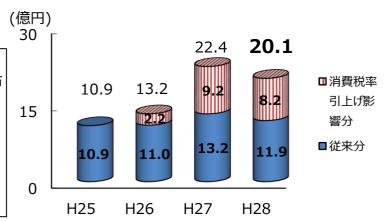
平成28年度は緩やかな景気の回復基調が続く中,給与所得の増加による個人市民税や住宅需要の増加等による固定資産税が増収となったものの,法人税割の税率引下げの影響等により法人市民税は減収となり、市税全体では,前年度と比べて3.8億円減収となりました。

◇地方消費税交付金とは



間接税である消費税のうち一部は,「地方消費税交付金」として市へ交付されます。

平成26年4月からの消費税率引上げ影響分は、下記のように社会保障の充実・安定化に向けた取組みに使うこととされ、交付金が増額されています。

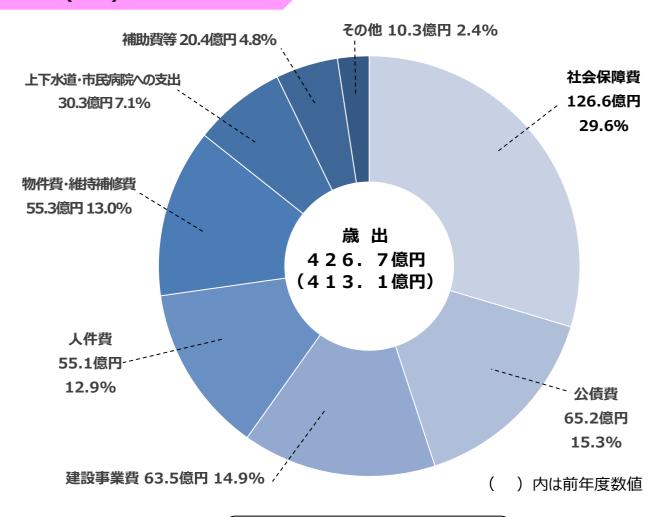


(単位:億円)

地方消費税交付金の使途の内訳について

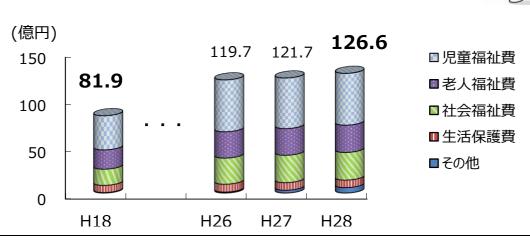
でいわせいという。 (十四・四日)								
対象経費		財源内訳						
))) 決算額		特定財源	一般財源				
	<i>大</i> 异般	国県支出金	市債	その他	地方消費税 交付金充当額	その他		
社会福祉	98.8	58.3	0.2	2.8	3.9	33.6		
社会保険	33.5	6.2	0.0	0.0	2.8	24.5		
保健衛生	17.0	1.9	0.0	1.0	1.5	12.6		
合 計	149.3	66.4	0.2	3.8	8.2	70.7		

歳出(支出)の内容は?



性質別では、子育て・医療・介護などの「社会保障費」に約30%のお金が使われているよ!

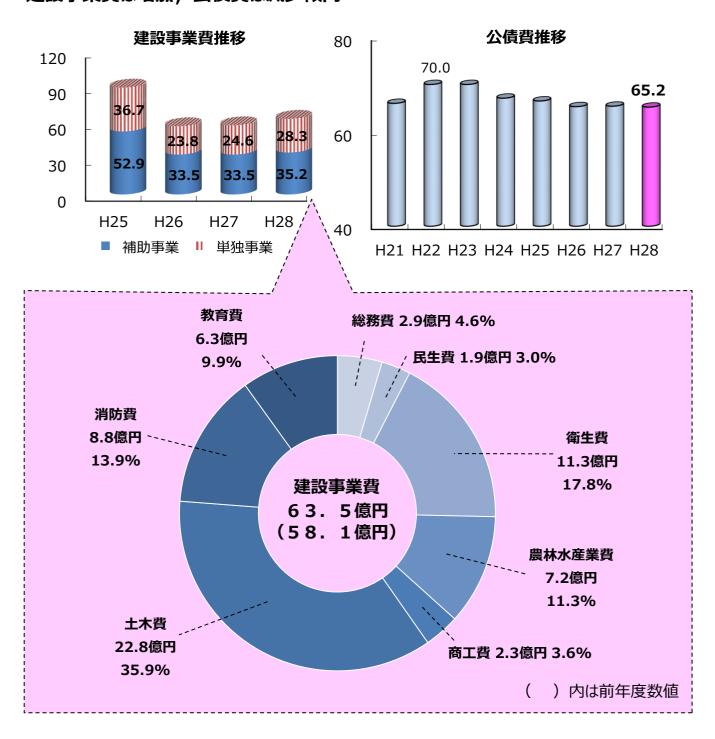
社会保障費の推移



社会保障費は、少子高齢社会が進む中、年々増加しており、10年前と比べて約1.5倍に、前年度と比べて4.9億円増加しています。

認定こども園の充実、保育料の第2子無料化、心身障がい者医療費の助成対象拡大(平成28年8月~)などを図りました。

建設事業費は増加、公債費は減少傾向

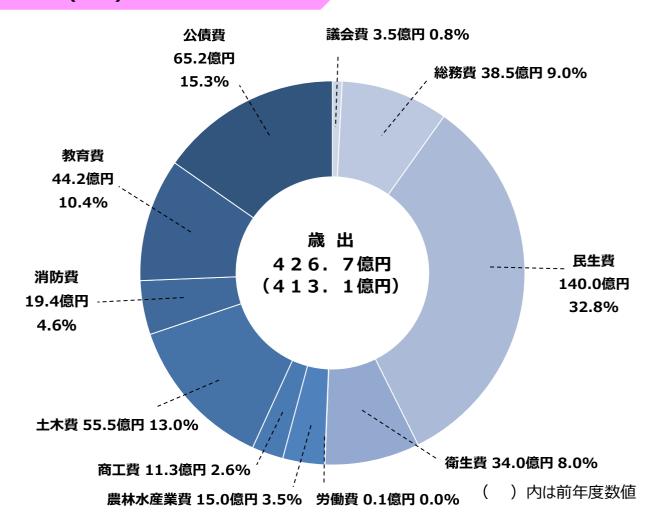


平成28年度の建設事業費の目的別の内訳は、上のグラフのとおりとなっています。 特徴としては、市民生活に直結した「(仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンター」建設着 手(衛生費)、里山健康学校「せせらぎの郷」(農林水産業費)、予防・子育て拠点「南部いき いきオアシス」(民生費)整備などを行い、前年度と比べて**5.4億円増加**しました。

公債費(建設事業等施工のため借入した借金の返済)は、平成22年度の70.0億円をピークに減少傾向となっており、平成28年度は**65.2億円**となっています。

今後も市債(借金)の発行を抑制しつつ、まちの発展・くらしの充実に取り組みます。

歳出(支出)の目的別の使い道は?



目的別では、福祉にかかる経費である「民生費」に一番多くのお金が使われているね!



目的別の主な支出の内容

議会費・・・議会の運営

総務費・・・市政の運営、税金や戸籍の事務など

民生費・・・医療や介護、子どもや障がいのある方、お年寄りへの福祉サービスなど

衛生費・・・・母と子やお年寄りの保健の充実、ごみ処理など生活環境の整備

労働費・・・・働く人への支援

農林水産業費・・・農林水産業、中山間地域の振興

商工費・・・商工業振興,産業の育成・誘致 など

土木費・・・道路・公園・住宅などの管理・整備

消防費・・・消防の活動、防災整備

教育費・・・学校教育・生涯学習・文化振興 など

特別会計・企業会計の内訳は?

特別会計(7会計)

É	会言	十名		収入	支出	差引	事 業 内 容
国员	民健	康 保	険	124.0	122.6	1.4	自営業者や退職者などの医療保険
介	護	保	険	96.7	94.4	2.3	施設介護,在宅介護等の保険
後期	高歯	令者医	療	13.0	13.0	-	広域連合による75歳以上の医療保険
簡	易	水	道	0.4	0.3	0.1	小集落への給水事業
農業	美集	落 排	水	5.4	4.6	0.8	農業集落の汚水処理施設管理・整備
工業	€団	地 造	成	2.4	2.4	-	産業団地の造成
公	債	管	理	86.6	86.6	-	借金の返済管理
合			計	328.5	323.9	4.6	

(単位:億円)

(単位:億円)

企業会計(3会計)

会計名		47	益的収支	支	資本的収支				
	五司石			収入	支 出	差引	収入	支出	差引
水			道	26.2	21.6	4.6	1.0	6.1	▲ 5.1
公	共门	下水	道	37.1	37.7	▲ 0.6	37.7	48.9	▲ 11.2
市	民	病	院	81.4	80.4	1.0	7.5	13.0	▲ 5.5
合			計	144.7	139.7	5.0	46.2	68.0	▲ 21.8



企業会計のしくみ

企業会計には2つの財布があります。

[収益的収支] … 事業を運営するために1年間にかかった経費と収入を管理する財 布。事業の黒字・赤字はこの財布の中身を見れば分かります。

[資本的収支] … 事業の運営とは別に,施設の建設や設備投資の収支をやりくりする財布。借金の借入・返済もこの財布で管理しています。

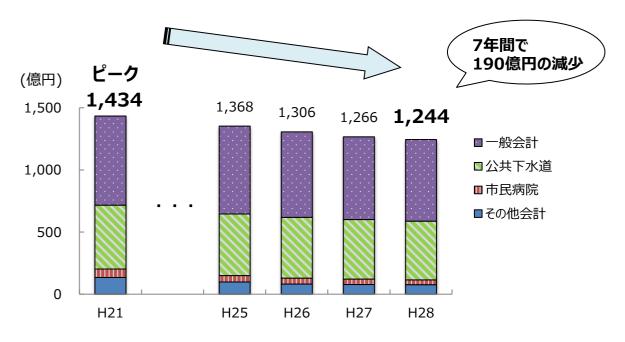
このほかに、企業会計には内部留保資金というものがあります。内部留保資金とは事業を運営して生じる純利益や現金支出の伴わない費用から生じるものです。

上の表では、資本的収支が赤字になっていますが、不足分は内部留保資金で補っています。

市債(借金)はいくらあるの?

小松市の市債(借金)の残高は、平成21年度の1,434億円をピークに借入れの抑制や繰上返済を行ったことなどにより、平成22年度以降は減少に転じています。

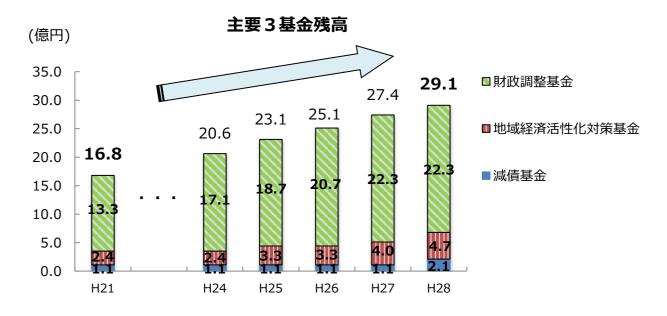
平成28年度は市債残高を約22億円改善し、全会計の残高は約1,244億円となっています。



貯金はいくらあるの?

小松市の貯金(主要3基金)の残高は、平成20年秋のリーマンショックの影響による歳入不足の補填や、市債の繰上返済を優先的に行っていたため、平成23年度末まで20億円を下回っていましたが、毎年度積み増し、平成28年度は1.7億円貯金(基金)を行い、平成21年度末比**12.3億円増**となっています。

今後も、突発的な財政需要に対応できるよう貯金を確保しつつ、将来負担軽減へ取り組みます。



小松市の財政水準は?

平成28年度の普通会計決算を全国の類似都市(31市)や県内11市と比べてみましょう。

財政力の強さ(財政力指数)

小松市の順位

小 松 市 0.705 **第23位** 類似31都市平均 0.807 **第23位** 県内11市平均 0.544 **第3位**→

※財政力指数

必要な財源をどれだけ自力で調達できるかを表す指数。数値が大きいほど財政力が強い。

収入に対する借金返済の割合 (実質公債費比率)

小松市の順位

小 松 市 15.6% 類似31都市平均 6.0% **第31位** 県内11市平均 11.3% **第10位**↑

※実質公債費比率

収入額のうち借金の返済に使った金額の割合。数値が大きいほど借金返済の負担が重い。

財政の弾力性(経常収支比率)

小 松 市 95.5% ^{小松市の順位}

類似31都市平均 90.7% **第27位** 県内11市平均 93.1% **第10位**↓

※経常収支比率

市税などの経常的な収入に対する経常的な経費の割合。数値が大きいほど財政の弾力性が低く、自由な政策に使えるお金が少ない。

収入に対する借金残高の割合 (将来負担比率)

小松市の順位

小 松 市 164.9% 類似31都市平均 30.7% **第31位** 県内11市平均 70.4% **第11位**→

※将来負担比率

収入額に対する市債などの負債残高の割合。数値が大きいほど将来支払う負債の残高が多い。

◎矢印は前年度との比較です

※類似都市とは?

小松市と同じ類型(人口が10万人以上15万人未満,産業構造が第2次産業+第3次産業が90%以上かつ第3次産業が65%未満)の都市で、全国に31団体あります。(国の類似団体の区分の変更に伴い、前年度の88団体から31団体となりました。)

類似都市と比べると・・・

小松市は,収入に対する借金返済の割合を表す「実質公債費比率」,借金残高の割合を表す「将来負担比率」は減少傾向にありますが,類似都市や県内11市と比較して,高い水準となっています。

今後は国や県などからの補助金の活用や民間活力の導入などを図りながら、まちを発展させ、税収を確保するとともに将来負担の軽減を図ることも重要な課題です。

平成28年度に行った主な事業をお知らせします

単位: 千円

1. 日本一「おもしろい」まちに

▶ 小松駅周辺は、みんなの夢を育む学びのエリア

●公立小松大学設立関係経費 78,425 平成30年4月開学に向けた準備

● ひととものづくり科学館魅力アップ費 12,092 理科科学大好き青少年の育成拠点施設の魅力アップ

● 小松駅南ブロック複合施設建設助成費 180,000 Komatsu A×Z Square(こまつアズスクェア) 建設に対する補助



Komatsu A×Z Square 公立小松大学

▶ 大交流時代へ、アクセスカ向上

●北陸新幹線建設推進費 99,986

北陸新幹線の小松開業 (平成35年予定) 建設負担金

●北国街道無電柱化整備費 19,822

龍助町から西町までの無電柱化推進

●向本折飛行場線(向本折大橋) 192,494

橋りょう耐震工事(平成30年竣工予定)

● **粟津駅東西環境整備費** 25,100 粟津駅西側線、駅前駐輪場整備など



▶ 華咲〈和文化が世界を魅了

平成28年5月4日~5日開催

●珠玉と石の文化調査・推進費 6,224 日本遺産認定「珠玉と石の文化」をプロモーション

● 曳山 2 5 0 年記念事業費 16,639 「勧進帳」小松特別公演、九谷焼モニュメント「五彩曳山」

●全国子供歌舞伎フェスティバル開催費 12,500

九谷焼モニュメント「五彩曳山」

ゲスト団体:新城山:臼子歌舞伎保存会,小原歌舞伎保存会(ともに愛知県)

● (仮称)九谷焼創作工房整備費 25,000 企業版ふるさと納税を活用し、若手育成と交流人口拡大の拠点施設整備への助成

2. 日本一「たくましい」まちに

▶ 北陸ダントツのものづくりのまちに

● 本社機能等企業立地助成費 187,800 小松市の産業振興や雇用拡大に繋がる企業立地を支援 4件

● **経営モデルチェンジ支援費** 10,104 省エネルギー化や新たなビジネスモデル導入などを支援 9件

● **産業団地造成費 (正蓮寺エリア)** 237,590 開発面積 約18ha, 分譲面積 約7ha

● 特別道路整備費 北浅井沖町線、山代橋川線 ほか 177,268

●**産業人材育成費・産業競争力強化費** 3,448 経営管理者·技術者·後継者等育成支援 9件、産学官共同研究·販路開拓支援 2件

▶ 女性・シニアの活躍で,誰もが活躍できるまちに

● ワーク・ライフ・バランス推進費 4,782 育児休業・介護休業の取得支援 18件,ワーク・ライフ・バランス推進アドザイザー派遣

●女性起業サポート費 女性起業チャレンジ塾。 ウーマンマネジメントスクール開講

1,468

451



▶ まちに, ひとに, 地球にやさしい「スマートシティ」に

● (仮称)エコロジーパークこまつ・クリーンセンター建設費 987,240 用地造成、環境影響調査など(平成30年竣工予定)

● **ごみダイエット 5 0 %費** 76,963 ごみ減量化に向け、「小松市指定ごみダイエット袋」を導入(平成28年10月~)

● スマートリサイクル 3 3 %推進費 18,683 3-Back推進, 剪定枝・古着・廃食油リサイクル推進



小松市指定ごみダイエット袋導入

▶ ICTでもっと便利,安心,楽しいスマートエンジョイライフ

●Wi-Fiスポット整備費

3,047

屋外1カ所,屋内5カ所整備

●保険料のコンビニ納付導入

6,048

平成29年度より介護保険・後期高齢者医療保険料のコンビニ納付開始



3. 日本一「ここちよい」まちに

▶ 子どもたちの笑顔のために

●こども医療費

420,613

18歳未満の子どもの医療費の自己負担分無料

● 不妊·不育治療支援費

17,978

一般不妊治療・特定不妊治療・不育治療に対する助成

●スマートこども園・保育所推進費

11,763

電子連絡帳導入·園だよりのICT化など

●あんしん保育推進費

2,174

事故防止·事故後検証カメラ設置



電子連絡帳導入により 園と保護者のつながりを強化

▶ 家族みんながここちよい,「予防先進」のこまつ

● 南部いきいきオアシス整備費

31,531

南部地区の予防・子育て拠点を整備(粟津診療所内)

●心身障がい者医療費

252,030

身体障がい者手帳3級(平成16年4月以降取得者)を助成対象に追加

●がん対策費

91,368

がん検診自己負担額を軽減(約3割→約1割)

●予防接種費

259,707

子どもインフルエンザ助成費拡大(1,000円→1,100円)

●認知症施策推進費

8,867

認知症ケアコミュニティマイスター養成、こまつはつらつ脳レレ体操DVD作成

●防災体制強化費

14,330

災害に備え、備蓄品の購入、地震・津波ハザードマップ更新

●消防署・消防団ポンプ車購入費 南消防署粟津出張所・第15分団ポンプ車更新 45,017



予防・子育て拠点

南部いきいきオアシス

▶「花・水・樹」人びとの心を豊かに

●せせらぎの郷リニューアル整備費 374,938 食育レストラン、バイオマスボイラーによる温泉施設などの整備

●未来につなぐ森林づくり推進費

3,072

荒廃林整備, 森林所有者調査

●フローラルこまつ推進費

14,334

花と緑あふれるまちを共創で未来へつなぐ

●環境王国こまつ里山資源活用推進費 12,849

叡智の杜整備、里まなび山あそび開催など





4. 日本一「はつらつ」としたひととまちに

▶ 大好きな学校で元気に楽しく学ぶ子どもたち

● 小中学校校舎・体育館リニューアル費 191,857 校舎:国府小, 粟津小 体育館:国府小, 第一小, 日末小, 南部中

● I C T教育環境推進費

47,941

タブレット型PC·大型液晶ディスプレイ整備, ICTインストラクター配置

●授業支援費

51,351

きめ細やかな指導のための教員配置など



活用した授業風景

▶ 世界とふるさとで活躍するグローカル人材の育成

● 中学校「イングリッシュ・テーブル」開設費 6,000 芦城中, 丸内中, 松東中, 安宅中に英語のコミュニケーションルームを設置

●国際都市ごまつWelcome費

2,239

外国人受入環境整備補助 2件,通訳ボランティア育成

●こまつアスリート育成費

10,000

小·中·高校生を対象とした医科学的サポート

●こども体育大学開催費

2,600

幼児コースに加え、新規に児童コースを開設

● 親水スポーツ公園整備費

22,029

前川・梯川合流地点に整備する親水スポーツ公園企画・用地取得



中学校「イングリッシュ・テーブル」

親水スポーツ公園(完成イメージ)

▶ 地域コミュニティの活力で、はつらつとしたひとづくり

●市民センター改修費 165,931

空調改修、バリアフリー工事、防災拠点整備

●学習等供用施設建設費

末広・蛭川・古城地区整備

84,669



市民センター バリアフリー工事後

▶ 未来へつなぐたくましい財政

●減債基金積立金

100,070

後年度の一般会計市債の償還のため、減債基金に積立て

もっと詳しく 知りたい方は…

小松市HPの組織別 案内(財政課)のペー ジをご覧ください。

[発行]平成29年10月 小松市総合政策部財政課

〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地

TEL:0761-24-8144(直通) FAX: 0761-24-8190

メール: zaisei@city.komatsu.lg.jp

H P: http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/